

「第25回益富地学賞」 小6「中やん」受賞

地学や地球環境の研究と普及啓発活動に取り組む公益財団法人「益富地学学会」(京都市上京区、山岡景一郎理事長)が優れた研究や標本を表彰するコンテスト「第25回益富地学賞」(産経新聞社後援)の受賞者が決まり、表彰式が1月21日、京都市左京区のみやこめっせで行われた。

岩石や鉱物、化石の標本・研究、写真作品を全国から募り、今回は25点の応募があった。研究部門の優秀

研究部門で優秀賞を受賞した山中彩さん(左)―京都市左京区のみやこめっせ



賞には京都市の大文字山で見つかる放射性元素を含む鉱物の研究をした同市の小学6年、山中彩さん(12)の「大文字山のカツレン石」

が選ばれた。

他の受賞者は次の通り。

(敬称略)

【研究部門科学奨励賞】

「咲くやこの花 ドーソンの花」松下宗嗣(小6)

【同特別賞】「大文字山の

柘石はどのように形成され

たか―岩石薄片を用いた岩

石の歴史の推理―」笹田翔

太(高2) 【標本部門優秀

賞】「地質と当時の環境を

知る化石と岩石」深見美博

(中3) 【同佳作】「ほう

せきみたいたいし」河井美

乃(小1) 【写真部門優秀

賞】「蔵王の御釜」米山直

昭(一般) 【同佳作】「蛍

光鉱物と灰重石」矢作哲

朗(一般) 【産経新聞特別

賞】「水晶の研究」針貝美

羽(小4)